

市民の力で八王子も!

# 学校給食の無償化 実現

2学期から

所得制限なし

市立小・中学校と義務教育学校に在籍する児童生徒



2023年10月 安間教育長に要望書を提出

2024年第2回市議会定例会で、学校給食無償化のための補正予算が可決・成立しました。今年の2学期から公立小・中学校と義務教育学校の児童生徒の給食費が無償となります。市民の皆さんの請願署名と運動が力になって「義務教育は、これを無償とする」(憲法26条)憲法の理念にそって八王子市の給食費の無償化が実現できたことは歴史的な成果です。声をあげれば政治を変えられます。

## 学校給食無償化への道のり

日本共産党市議団 無償化を繰り返し求める

- 2018年3月 第1回定例会
- 2020年3月 第1回定例会
- 2022年12月 第4回定例会

市民の請願署名の取り組みが無償化の後押しに

2023年秋  
3つの市民団体が請願と署名を提出

2023年12月  
東京都が2分の1補助を行うと表明

2023年12月 第4回定例会  
文教経済委員会で審議  
継続審査に

2024年1月  
市長選挙で各候補の公約に

2024年3月 第1回定例会  
請願審査を採択・可決

2024年6月 第2回定例会  
学校給食無償化の  
補正予算を可決、成立

《市民からの声》

給食無償化、本当に嬉しいです。毎日給食にお世話になっている給食大好きな我が家の3人の子どもたちにも、しっかり伝えます。ありがとうございました!

声をあげれば政治はかわる



すべての公立小・中学校の

## 体育館に

## エアコン設置します



### 授業や部活動にも使用できます

2024年第2回市議会定例会で学校体育館空調機設置のための補正予算が可決・成立しました。「すべての学校体育館にエアコンを設置してほしい」「設置したエアコンは子どもたちの授業や部活動にも使わせてほしい」と願う市民の声が、いよいよ実現します。都内で八王子だけが空調設置計画の検討もせず、授業に使えないことに対し、改善を求める市民の世論と請願署名運動が市政を動かしました。

#### ● 設置計画

対象	2024年度	2025年度	計
小学校	22校	36校	58校
中学校	28校	3校	31校

2ヶ年で全校設置完了予定

※すでに15校設置完了済み  
(小学校9、中学校5、義務教育学校1)  
二小・四中は改築工事に合わせて設置予定

先日、子どもが帰宅後すぐに“体育館のエアコンが7月から使えるようになった!”と嬉しそうに教えてくれました。体育の授業や部活動でも使えるようになり、保護者としても一安心です。



## 学校体育館エアコン設置にむけた道のり

2018年9月 第3回市議会定例会  
党市議団、学校体育館への空調機設置を求める質疑を行う

2019年 学校体育館に空調機設置を進める都内自治体が増加  
八王子は設置計画を示せず。  
設置した空調機の使用は災害時のみと限定

2022年8月 学校体育館に空調機設置を求める市民の請願署名(約7000人分)が市議会に提出される

2022年9月 第3回市議会定例会  
党市議団 紹介議員として請願の提案説明  
本会議の採決 >> 否決  
賛成 7 (共産党、諸派3名)  
反対 32 (自民、公明、立憲など)

2024年3月 第1回市議会定例会  
気化式冷風機を設置するための補正予算を計上

2024年6月 第2回市議会定例会  
学校体育館に空調機を設置するための補正予算を計上

小・中学校合わせて今年度で50校、来年度で39校に設置

日本共産党

八王子市議団



鈴木ゆうじ



石井ひろかず



市川かつひろ



望月しょうへい



わたばやしゆか

## パートナーシップ条例の 必要性

鈴木ゆうじ市議



ジェンダー平等とパートナーシップ条例の必要性を市長に訴えました。日本のジェンダーギャップは世界から叱責される水準であり、中でも八王子市の取組は東京都や近隣市と比較して遅れていることを事実で示すと、市長はうなずきながら聞いていました。

ジェンダーギャップは、社会的不条理です。ギャップをなくすことが社会正義だとパートナーシップ条例制定への決意を促すと、市長は「引き続き、東京都パートナーシップ宣誓制度の周知と活用できるサービスの拡充に努める」「多様な個性が尊重される社会意識の醸成を図りたい」と答えました。あと一息です。世論で市政を動かしていきましょう。

## 地域からつくる介護保険 施策の展開を

市川かつひろ市議



市の介護保険会計は黒字です。必要な介護サービスが十分に提供できているとは言えません。市は6年後に介護人材が約2000人不足するとしています。人材確保には処遇の改善が欠かせません。私は、国の報酬削減にならうのではなく、市の予算を充当することを提案しました。介護保険料は毎月徴収されます。しかし、介護保険はサービスの限度額があり、介護の度合いによって選別されています。お金は払っているのに、必要なサービスが受けられないのです。私は、八王子独自の介護保険を地域の皆さんとつくり、必要なサービスを提供することを誓いました。誰もが安心と希望をもって歳を重ねられる、まちづくりへ取り組みます。

## 小池都知事に立候補要請！？ しやけ市長の政治姿勢を問う

望月しょうへい市議



都知事に対して立候補を要請することに至った経過について、知事側からの要請があったのか質しました。市長は市長会のとりのまとめをした調布市長から呼びかけがあり、有志として参加したと答弁しました。しかし調布市長は知事側からの働きかけがあったと明かしており、このことから立候補要請は知事側の演出であることは明らかです。立候補を要請するまで議会や市民に対する説明や議論もありませんでした。誰が都知事になることが市民にとって最善か判断するのは市民一人ひとりです。八王子市民の代表である市長の立場で選挙前に特定の人物に対して立候補を要請することは適切ではなく、撤回すべきと強く求めました。

2024年

第2回定例会  
一般質問

市民の願い実現へ

## はちバスでのシルバーパス 利用の継続を

石井ひろかず市議



八王子市のコミュニティバス、はちバスの再編を市は検討しています。先に検討を行った地域公共交通活性化協議会の検討報告書を公開するよう求めましたが、市は政策立案中だとして否定的な答え。協議会の議事要旨によれば、路線バスの横糸になるイメージで、駅には行かない案が出ているようですが、北八王子駅や長沼駅など他のバスが乗り入れている駅へのアクセスは最低限守るべきです。

また、現在はちバスの利用者の6割が利用している東京都のシルバーパスを、はちバスでは使えなくすることも検討しているようですが、それは利用控えを促す大改悪になります。東京都は一部の自治体のコミュニティバスにはシルバーパス利用分の運賃を補償しています。それははちバスにも求めるべきだと私は訴え、市も市長会要望で都に求めていると答えました。シルバーパスの料金の引き下げや多摩モノレールなどでの適用拡大と合わせて都への要求を強めながら、はちバスでのシルバーパス利用を続けるよう強く求めました。



2022年度はちバスの実績

	乗車人数	内シルバーパス利用者	率
北部コース 西八王子駅～東海大病院	40,831人	16,599人	40.6%
西部コース 北の根東～西八王子駅	34,455人	17,602人	51.0%
東部コース JR片倉駅～日生団地	59,917人	41,641人	69.4%
西南部コース 松子舞団地～高尾駅南口	28,358人	20,422人	72.0%

## 移動支援 小学生から利用 できます

わたばやしゆか市議



買い物や散歩、行楽地など外出のサポートをする障害者の移動支援が、小学生から利用できるようになりました。保護者や障害者団体からも喜びの声が上がっています。移動支援をさらに利用しやすい制度にするには、日常的に通学や通所に使えることが必要です。市は、病気や入院の他、就労が理由で保護者が付き添えない場合、緊急一時的であれば利用を認めましたが、日常的な通学での利用は「現時点では変更する考えはない」としています。通学や通所・通勤といった「通年かつ長期にわたる外出」に移動支援が利用できないのは障害者の人権を侵害するものです。だれもが住みやすいまちへ頑張ります。ともに声を上げていきましょう。

八王子市議会第3回定例会の日程

9月3日(火)～10月8日(火)

一般質問や補正予算等の審議の他、  
2023年度の決算審査も行われます

日本共産党八王子市議会議員団公式ホームページ

<http://www.jcp-hachioji.jp/>

QRコードをスマホカメラでよみこんでください

